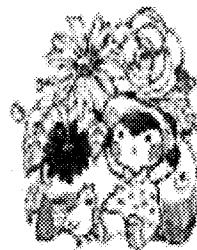


平和の砦 憲法九条

西京九条の会ニュース No.23

発行 西京九条の会連絡会 連絡先 下山 誠 075-392-3861 HP:9zyo.com



ウクライナ侵略反対、プーチンは戦争やめろ



ウクライナ国花

戦後の国際秩序を脅かす異常な事態がおこっています。
ロシアのプーチン大統領によるウクライナ侵略です。
軍事的拠点ばかりでなく、幼稚園や学校、住宅なども爆撃され、子どもたちもふくめ、民間人にも多くの死傷者が出ています。
ロシアによるウクライナ侵略は、領土の保全や武力行使による国際紛争解決を禁じた国連憲章に違反し許されるものではありません。
ロシア国民も含め、世界中の多くの人々が、ロシアのプーチン大統領によるウクライナ侵略に、怒りを感じ、デモなどの反戦運動をしています。
国連憲章にもとづいた措置をすべての国が団結して行うことと国際的な世論で追い詰めることが戦争を拡大せずに終結させる道なのではないでしょうか。

ロシアと同じ道をたどるな
核兵器禁止条約に参加する政府を

ウクライナ情勢に乗じて、核兵器の共有論がふりまかれています。

安倍元首相が、口火を切り、元大阪維新の会の橋下氏が同調しました。

後日、維新の会は、党として、核共有の議論を求める提言を発表しました。

「核共有」とは 核兵器を米軍基地に配備させて、有事の際には、自衛隊機に乗せて、使用するという事です。

核による脅威に核で対抗しようというもので、それでは、制裁する国に対して、核兵器使用による報復さえちらつかせるロシアのプーチン大統領と変わりません。

核には核の議論は、核兵器保有国を増加させることとなり、核戦争による破滅の危機に世界の人々が頻することになります

被爆国の日本政府こそが、核兵器禁止条約に参加し核兵器廃絶を先導する役割を果たすべきではないでしょうか。



西京ピースウォーク19
3月12日、桂駅周辺を戦争反対、憲法9条を守ろうとアピールしながら行進しました。

戦争する国づくりNO
憲法9条守る府政の実現を

私たちが暮らしている西京区には桂自衛隊基地があります。

桂の隊員は、災害派遣や基地内での補修業務に従事するだけでなく、カンボジアやイラク、南スーダンに派遣されてきました。

海外への出撃基地としての役割ももっています。

安保法制の下で、ますます危険な業務に従事し海外でいのちを落とす可能性が高まっています。

自衛隊員の命を守るためにも、憲法9条を守るように国にも言う府政の実現がもとめられます。

NOW WAR

西京九条の会連絡会の活動報告

連絡会では2月12日、京都大学教授の高山佳奈子さんを招いて学習会を開きました。

コロナ禍感染拡大中で、たくさんの人に聞いて頂くことができず残念でしたが、要請した「改憲の動きと日本学術会議任命拒否問題」のテーマでお話頂き、たくさんの質問にも答えて頂きました。

刑事法の学者としてのお話でありながらも分かりやすい内容で、今後の活動に多くの参考と刺激になりました。

コロナ禍を口実に改憲しようとしていることについて、一般法で措置も処罰も可能で、すでに特別法もあると言うお話でした。

九条に自衛隊を書き込めば、第1章の天皇の次の第2章に自衛隊が書かれることになるおかしさも話されました。

日本学術会議任命拒否問題については、同会議法と憲法と行政手続き法に違反しているので情報開示請求手続き中で、今後行政手続きと司法手続きを予定しているとのことでした。

そして、こんな小さな集会と思わず数を重ねてほしいとの激励も頂きました。

学習会の前には各学区の会から活動報告をして頂き交流しました。

世話人会体制についても話し合いたかったのですが、会場設定の不手際で時間をとれなくなり次の機会としました。

3月5日、境谷憲法九条の会が日本平和学会の松竹伸幸さんを招いて学習会を開きました。

ロシアによるウクライナ侵略の真っ只中で、軍事行動や核兵器の危険性と憲法九条の大切さを改めて確認する集会でした。

3月12日、西京ピースウォーク実効委員会の主催で18回目のアピール行動が行われました。

連絡会ではこれからも多くの機会に色々な所で様々な角度で学習会や討論会などの集会を開催し、改憲の動きを止めたいと思っていますので、参加協力をお願いいたします。

事務局